

中央教育審議会生涯分科会  
学校地域協働部会資料

# 杉並区の学校支援本部の取組

「いいまちは いい学校を育てる」

東京都杉並区教育委員会教育長  
井出隆安  
平成27年7月2日

# 地域運営学校の指定と学校支援本部の設置

## ・地域運営学校（CS）の指定

平成17年度開始・4校（小2・中2）

平成27年4月現在・29校（小19/41・中10/23）

## ・学校支援本部の設置

平成18年度 開始5校

平成22年度 全校設置

# 地域運営学校の成果

(平成26年度成果検証調査結果より)

- 児童生徒の「自己効力感(自らの成長への期待感)」が高い。
- 教員は、自校児童生徒を肯定的に評価。
- 教員は、自校校長がリーダーシップを発揮していると評価。
- 住民や保護者は、学校の運営支援に参加。
- 小学校では、保護者や住民との関係が良好だと教員のストレスは少ない。

「児童生徒」「教員」「住民・保護者」の関わり合いが安定的に行われることで、児童生徒は多面的に評価され自己効力感を高め、教員・住民・保護者は自信を取り戻していく、「信頼の循環」が生まれる。

# 学校支援本部の取組

(「地域による学校支援活動」表彰校)

学校名	井草中学校	杉並第一小学校	桃井第四小学校	三谷小学校
キャッチフレーズ	学校と地域との双方向性を重視した教育活動	「ふるさと杉一」を意識し、学校・地域・保護者が一体となった学校支援	保護者・地域の多くの大人の力が結集し、もう一つの家族のような学校につながる活動	ねがい・情報を共有し、責任と学びを分かち合う活動をめざして！
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級サポーター(コミ担)</li> <li>・井草サバイバルスピリッツ(地域運営型部活動)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝先生</li> <li>・すぎっ子くらぶ(放課後の居場所)</li> <li>・小学校オープンキャンパス(幼保小接続)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トロールの森(国際野外芸術祭との連携)</li> <li>・地元バス会社との連携</li> <li>・(卒業生)中学生ボランティア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校読み聞かせ</li> <li>・近隣高校との連携</li> <li>・おやじの参画</li> <li>・土曜教室</li> </ul>
コーディネータ	5人	3人	3人	5人
CSの特徴	「コミ担」制度で生徒と交流	共育シンポジウムの開催	CS主催で「ももし祭り」	「皆が何かを言う」グループ討議

# 学校・地域コーディネーターへの期待

- ・学校と地域の調整役（汽水域）

「先生」でも「保護者」でもない「第3の大人」

- ・教育活動のプロデュース

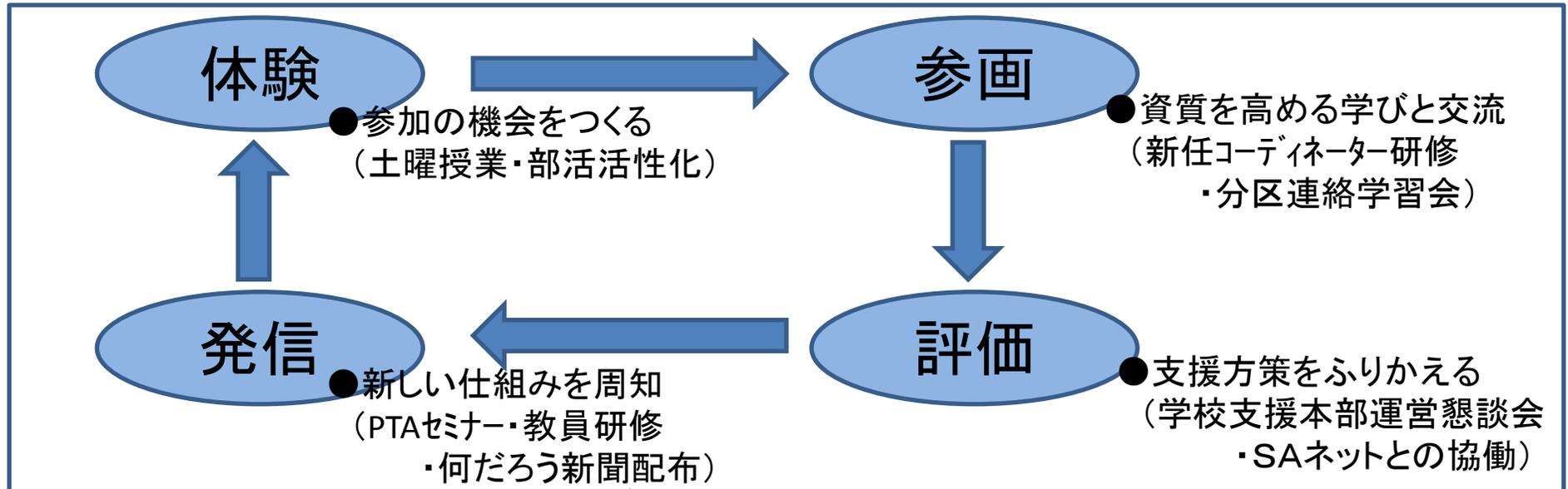
地域の教育資源の開発と授業のコーディネイト

- ・「開かれた学校」づくり

学校のハイブリット化とCSへの移行準備

# 学校・地域コーディネーターの発掘と育成

—再現性・持続性・多様性を目指して—



支援充実

改善提案

## 杉並区教育委員会

「教育ビジョン2012」の策定／学校支援課設置／社会教育主事配置  
計画的事業推進【学校教育コーディネーター⇒本部全校設置⇒CS全校指定へ】

# これからの学校支援本部に求められること

## 「杉並区教育ビジョン2012」(取り組みの方向)

- ・子どもの豊かな人間性を育てる、より質の高い学校づくりを進める。 (学校支援)
- ・家庭・地域・学校のつながりを重視した、共に支える教育を進める。 (協働推進)
- ・地域と共に歩む「新たな公共空間」としての教育基盤を整える。 (新しい学校づくり)
- ・生涯にわたる豊かな学びや文化・スポーツ活動等を通じ、誰もが輝く地域づくりを進める。 (生涯学習)

学校づくりは まちづくり

---

東京都杉並区教育委員会